

環境に配慮した活動

環境に配慮したサプライチェーンマネジメント

4月に北は岩手県、南は岡山県の遠方より266社、309名の購買先様にご参集頂き、『第2回調達方針説明会』を開催しました。

今回は、『安定調達・安定生産』をキーワードに当社の業績見通し・受注動向・10年間の需要予測・発注額の推移などの説明を実施しました。

情報をオープンにすることにより各購買先様における「ムリ・ムラ・ムダ」を排除し、効率的な生産及び環境へ配慮した取り組みが行えるものと考えています。



当社では取引先殿と共同で、不良品撲滅によるエネルギーの削減活動を実施しています。1～2ヶ月に1回のペースで取引先殿を訪問し、不適合発生内容の分析を行って、原因究明と対策を立案しています。この結果を次回製作に生かし、ロスを無くすべく、コミュニケーションを図っています。

取引先殿においても、不適合の撲滅は再製作の手間や材料の削減にもなり、工程内自主検査・出荷前検査の実施方法など、一致協力し合って進めています。更に取引先殿から改善提案を提示頂き、当社での設計・生産に反映させる活動も積極的に行っています。



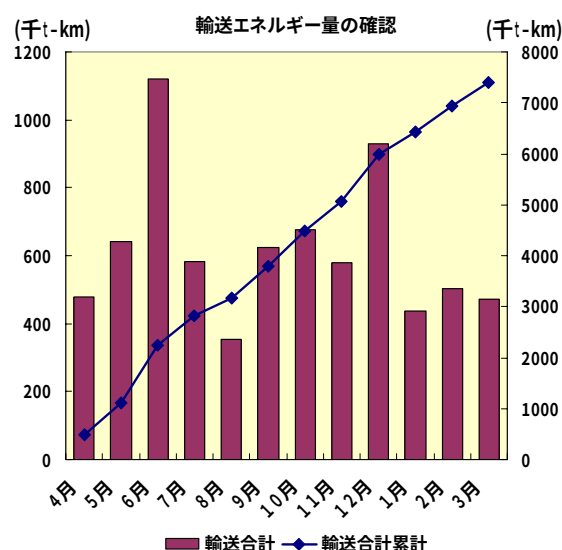
写真 上：取引先殿との品質改善共同ミーティング

右：現場での改善活動



荷主としての輸送エネルギーの確認（2007年度）

改正省エネ法では、輸送事業者と同様、3000万トンキロ以上の荷主企業に対しても省エネの義務付けが行われました。そこで2007年度一年間の貨物輸送量について確認をしました。年間740万トンキロであり、CO₂排出量としては953トンでした。基準からははるかに低い数値でしたが、今後とも省エネルギーに配慮していきたいと思っています。



利害関係者とのコミュニケーション

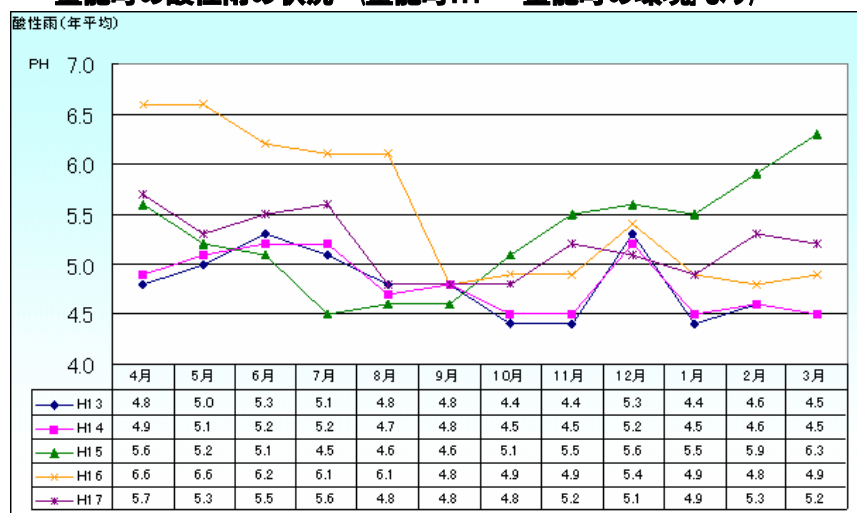
工場排水の調査 新潟ガスタービン工場

2006年度の聖籠町による定期排水立入検査に於いて、排水 pH 値が 4.7 と協定基準値を超えているとの御指摘を受けました。詳細調査した結果、構内排水施設の管理機器には異常が出ていない事、同日採水した雨水枡から pH5.3 と低い値が計測された事などから酸性雨によるものと判明し町当局に報告し受理されました。

この事例から、酸性雨についてデータとしては理解していましたが、直接的な問題として改めて認識し、雨についても監視していかなければならない事を実感しました。

新潟県や聖籠町としても酸性雨について継続的に計測しており、その結果はホームページにて公開されています。

聖籠町の酸性雨の状況（聖籠町HP「聖籠町環境」より）



聖籠町の特産 さくらんぼ

写真提供 聖籠町観光協会